

宮司さんによる講演会

令和5年12月15日

12月15日（金）に尼崎えびす神社の宮司、太田垣 亘世様をお招きし、1年生を対象に講演会を行いました。

太田垣様は全国でも珍しい女性の宮司さんで、前職はキャビンアテンダントというキャリアの持ち主です。また、人間関係やマナー等についての講演活動を幅広く行われているとのことでした。

今日は、生徒が、自分について考え成長していくために必要な考え方について分かりやすくお話をさせていただきました。

お話の中で「守破離」という日本の武道などでの鍛錬の仕方を示す言葉を紹介されました。「守」は、物事を始め、決められた型や基本を繰り返し練習する基本段階、「破」は、基本を大事にしながらも、自分なりの工夫を凝らし殻を打ち破っていく発展の段階、そして「離」は、独創的、個性的で自分にしかできないものを確立する完成段階で、自分自身をよく理解しながら、この過程を踏んでいくことが大事だとのことでした。

高校3年間で言えば、1年生は「守」に当たる段階です。残り数か月になった1年生の間に、基本をしっかりと習得し確かな力をつけてください。そして、次の2年生でそれぞれの「破」を実現してもらいたいと思います。

太田垣様、本日はお忙しい中を誠にありがとうございました。



太田垣様の講演の中で、生徒は「理想が実現できる学校像」を付箋クラスごとの樹木に飾りました。